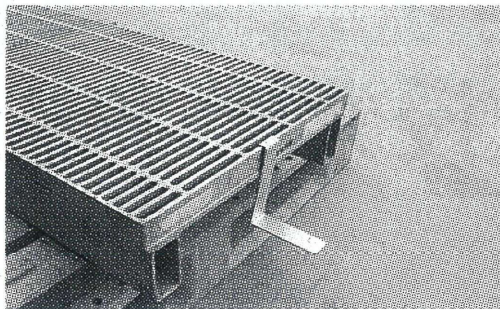
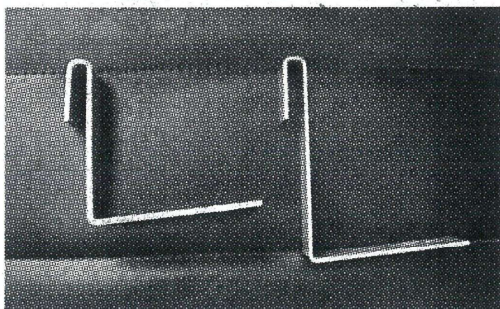


防止金具設置で対策を 盗難増加 組合が注意喚起

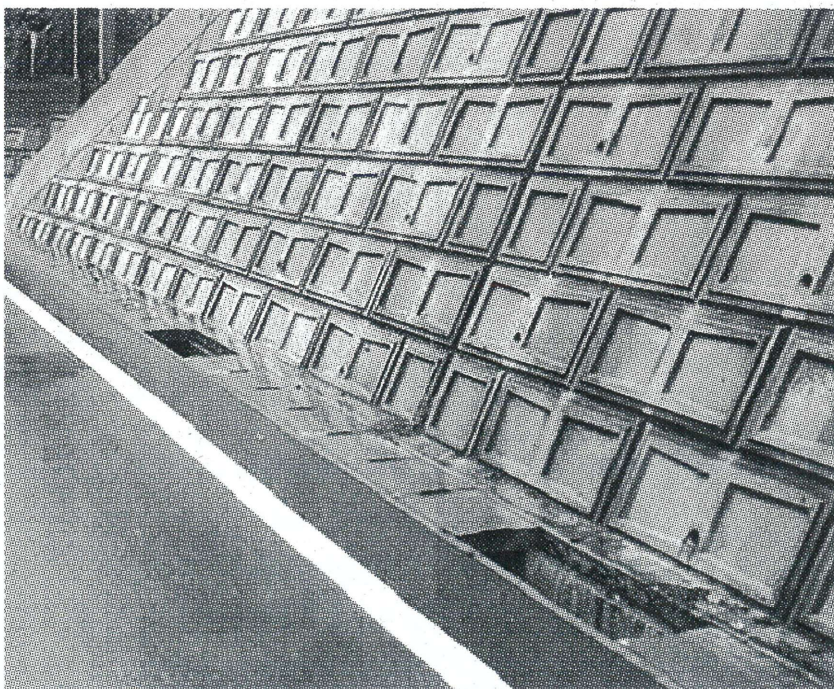
グレーチング



1カ所につき左右2個使用



写真は押し込み式



過去の盗難被害事例

鉄スクラップ等の高騰を背景に、グレーチング（金属製側溝蓋）の盗難被害が増加傾向にある。県コンクリート製品協同組合（中川喜久治理事長）は関係者に注意を喚起するとともに、盗難防止金具の利用を呼び掛けている。盗難防止金具

を設置することにより、グレーチングを左右側溝蓋の重みで簡単に取り外せなくなる仕組み。全国公共事業等に約20万個の納入実績を有するほか、県土木工事等建設資材単価表にも記載されている。施工が容易で、安価な対策としても注目が

集まる。

製品に関する問い合わせ

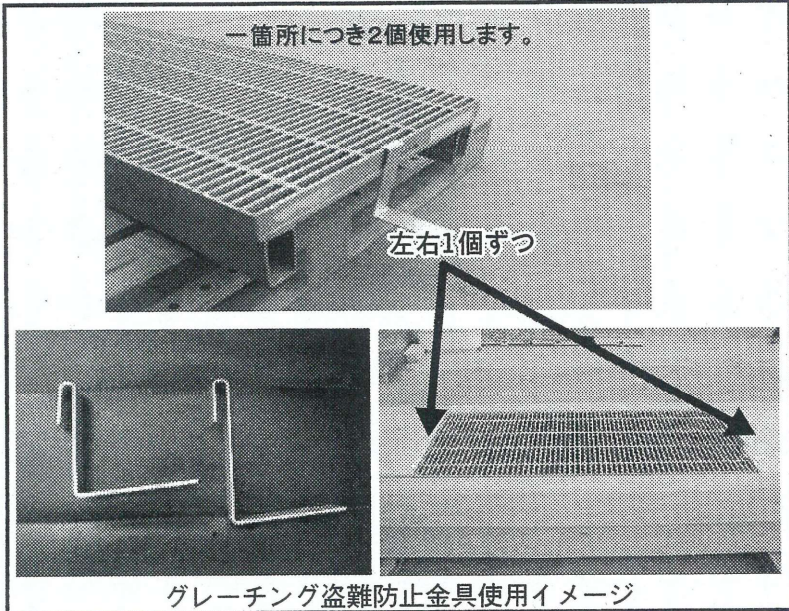
は同組合（電話029-2531225）まで。

県コンクリート製品協同組合

低コストで効果発揮 グレーチング盗難防止金具が話題

県内で多発するグレーチング盗難に対する防止策のひとつとして、県コンクリート製品協同組合（中川喜久治理事長）が開発・販売しているグレーチング盗難防止金具が注目されている。同製品は低価格で取り付けが容易なことが特徴で、これまでに合計約30万個の販売実績がある。

県コンクリート製品協同組合がグレーチング盗



難防止金具を開発したのは17年前で、県土木部からの要請を受けての実施であった。当時、グレーチングのメーカーからも盗難防止金具が発売されていたが、価格が高く普及が進んでいなかった。そこで、同組合は組合員のアイデアを元に低価格と施工の簡便さを両立した製品を開発した。

金具は押し込み型（一体型）とねじ式（分割型）

の2種類で、押し込み型はU字溝を新たに施工する際に使用する。グレーチングの両側にひとつずつ金具を取り付け、コンクリート蓋で押さえる仕組みとなる。また、ねじ式は既に架設されているグレーチングに対応。コンクリート蓋やグレーチングを取り外さずに装着することが可能で、専用のレンチにより締め付けて固定する。

側溝用蓋の重量は1m

のものが101キログラムから、50cmでも51キログラムからとなるため、取り外しには相当の労力と時間がかかる。そのため、両隣の側溝を利用する同製品の活用は、盗難防止に大きな効力を発揮することが期待できる。

同製品はコンクリート蓋の厚みにより、押し込み式が4種類、ねじ式が4種類を用意。県の建設資材単価表にも採用されており、価格は1個あたり、押し込み式が500円から620円、ねじ式が1140円から1250円まで。なお、押し込み式は100個入1箱、ねじ式は50個入1箱からの販売となる。

これまでの販売実績としては、07年4月からこれまでに合計約30万個を販売したという。販売地域も本県にとどまらず、評判が口コミで広がり、愛知県や千葉県をはじめ、他県での販売も拡大している。

グレーチング盗難防止金具についての詳しい問い合わせは、県コンクリート製品協同組合（水戸市東赤塚2254-3、電話029-253-2251）まで。